

兵庫県のウワバ亜科

兵庫県産蛾類分布資料・22

高島 昭

ここではヤガ科のうち兵庫県で記録があるウワバ亜科について述べる。データは2001年8月31日現在で入手できた資料に基づいている。記載の要領はこれまでと同じであるが、引用文献の表示方法を若干変更している。これまでは報告ごとに文献を整理し番号をつけていたが、これでは全体をとしてみたときに参照するのに不便を生じるので、筆者の文献データベースを基にした番号に改めた。このため文献番号は連番とはなっていないが、例えば別稿の「兵庫県のキノカワガ…」の文献番号と本稿の文献番号は連動している。なお、文献リストは稿を改めて紹介する予定である。

また、データのあとの★マークは、兵庫県立人と自然の博物館で確認できた標本を示す。標本調査及び記録の掲載に格別のご配慮を頂いた兵庫県立人と自然の博物館の中西明徳氏、八木剛氏にはこの場を借りて厚くお礼を申し上げる。

ウワバ亜科 <PLUSIINAE>

形態的には比較的良好なまとまった一群で、2、3の例外を除いて複眼の後方から複眼を覆うように繊毛が発達し、金色または銀色の金属色斑紋を種が多い。

本亜科の種は全大陸と主な島嶼に分布し、寒地帯から熱帯地域にまで特有の種群を有するが、全体的には森林より乾燥地によく適応している。熱帯性の種群は広域分布種を多く含み、移動性が強く特定の休眠期を有しないものが多い。幼虫は*Abrostola*を除いて第1,2腹脚を欠くセミルーバー。キク科やその他の草本につくものが多く、中には野菜類の害虫として著名な種も含まれる。

日本では詳細不明なものも含めて60種が確認されており、兵庫県からは26種が報告されている。なお、ムラサキキンウワバは過去に報告されているが誤認と思われるためリストには含めていない。

地域別に見ると、神戸16種、阪神・北摂18種、中東播南部8種、中東播北部16種、西播南部12種、西播北部16種、南但17種、北但10種、丹波13種、淡路北部6種、淡路南部14種となっていて、種類数だけでは地域間の違いは見られない。中東播南部、淡路北部で種類数が少ないが調査頻度が少ないためと思われる。しかし、種毎に見ると冷温帯性の種や南方系の種では特徴的な分布を示している。

このうち、シーモンキンウワバ、オオキクギンウワバ、ガマキンウワバ、アミメギンウワバ、コセア

カキンウワバなどは記録が少なく注目種である。これらの種は記録が少ない種に加え、分布の限界域となっているもの、長い間再発見されていない種も含まれ、調査が必要である。また、ウスグロマダラウワバをはじめ6種は兵庫県からは未発見であるが、今後確認される可能性がある。

1. *Abrostola triplasia* (Linnaeus) (4118)

イラクサマダラウワバ

本属中では小型で前翅は他種に比べてややくすんだ灰黄色を帯びうる。翅頂近くの外横線の起点附近の淡色影は他種よりも顕著で外見で確実に同定できる。北海道から九州に至る本土域と対馬、屋久島、徳之島に分布する。食草はイラクサ科である。オープンランドのような環境を好み都市近辺や耕作地附近でも見られる。年2回の発生である。県下では平地から山地まで広く分布する。

[採集記録]

宝塚市(武庫川町,13.X.1987,-,新家勝¹¹³:引原,22.VI.1974,1♂;29.VI.1974,1♂;22.V.1976,1♂,遊磨正秀⁵⁵)
相生市(三瀬山,25.VI.2000,1♂,高島昭)
南光町(船越,7.VII.1968,1ex,岡本清¹⁰⁴)
朝来町(須留ヶ峰,31.VII.1975,1♂,遊磨正秀⁵⁵)
大屋町(田淵山,5.VIII.1975,1♂,遊磨正秀⁷⁰)
水ノ山(---,---,遠山ほか²⁴)
関宮町(福定,25.VII.1973,2♂,遠山雅夫²⁰)

2. *Abrostola major* Dufay (4121)

オオマダラウワバ

本属中ではやや大型で内・外横線を縁取る赤色条は充分赤褐色であるが、外見上ミヤママダラウワバと酷似し区別が困難である。近縁種中では暖温帯性の要素が強く、東北地方以北ではまれで、関東以西、九州に至る本土域に分布の中心があり対馬にも産する。年2回の発生。幼虫はアカソ、カラムシを食べることが知られている。県下では、低山地から山地にかけて分布しているがやや局地的である。

[採集記録]

神戸市(摩耶山,---,---,田中蕃²¹)
能勢妙見山(26.VIII.1983,3♂,夏秋ほか²⁷)
波賀町(引原,18.V.1974,1♂;27.IX.1974,1♂;2.VI.1975,1♂,遊磨正秀⁵⁵:同,20.VIII.1988,2♂;22.IX.1988,1♂,高島昭¹⁴)
三日月町(下本郷,-.V.1984,-,川副昭人¹⁰²)
水ノ山(---,---,遠山ほか²⁴)
関宮町(大段ヶ平,21.VII.2000,1♂;4.VIII.2000,1♂,高

島昭：福定,23.VI.1973,4♂,遠山雅夫³⁰⁾

3. *Abrostola pacifica* Dufay (4120)

ミヤマダラウワバ

前翅の内横線の内側を走る赤褐色条は近縁種中で最も太い。エゾマダラウワバとほぼ同様な分布を示し、北海道から中部にかけて産するが中国山地からも得られている。年2回の発生であるが食草は分かっていない。県下では、氷ノ山山系にのみ産する。

【採集記録】

波賀町(坂の谷,19.VIII.1998,1♂,高島昭：引原,27.IX.1974,1♂;2.VI.1975,1♂;22.V.1976,2♂;8.V.1977,1♂,遊磨正秀⁵⁵⁾：同,14.VIII.1979,1♂,相坂耕作：同,7.IX.1988,1♂;17.IX.1988,1♂,高島昭¹⁴⁾

氷ノ山(---,---,遠山ほか³⁵⁾)

関宮町(福定,23.VI.1973,8♂,遠山雅夫³⁰⁾)

4. *Abrostola abrostolina* (Butler) (4123)

ユミガタマダラウワバ

本属中最も小型で識別は容易。東北北部から九州に至る本土域と対馬に分布する。幼虫はクワクサを食べる。年2回以上発生し5~9月に見られる。蛹で越冬する。県下では里山から山地帯まで広く分布するが記録は案外少ない。

【採集記録】

猪名川町(上阿古谷,1.IX.1982,1♂,夏秋ほか⁷³⁾)
高砂市(---,2.VIII.1968,1ex.;22.VIII.1976,1ex.,岡本清¹⁵⁴⁾)
黒田庄町(喜多,2.VII.1959,1ex.,岡本清¹⁵⁴⁾)
八千代町(笠形山,5.VIII.1960,1ex.,岡本清²⁰⁴⁾)
波賀町(引原,22.VI.1974,1♂;29.VI.1974,3♂;12.VIII.1974,1♂,遊磨正秀⁵⁵⁾)
三日月町(下本郷,---,VI.---,川副昭人¹⁰⁰⁾)
氷ノ山(---,---,遠山ほか³⁵⁾)
関宮町(福定,23.VI.1973,3♂,遠山雅夫³⁰⁾)
市島町(妙高山,---,---,山本義丸¹⁵⁵⁾)

5. *Lamprotes mikadina* (Butler) (4127)

シーモンキンウワバ 注目種

前翅は紫灰色で中央に微小なC字紋を有する。中横線と外横線の間は後縁に向かって金色で充たされる。北海道中南部、利尻、礼文、東北から中国地方にかけての本州に分布する。幼虫はカラマツソウを食べる。山地性で年1回夏に発生する。県下では内陸部の山地で記録されているが近年の記録がなく、調査が望まれる。

【採集記録】

氷ノ山(---,---,遠山ほか³⁵⁾)
柏原町(柏原,11.VII.1960,1♂,山本義丸¹⁵⁵⁾)
市島町(妙高山,18.VIII.1960,1♂,山本義丸¹⁵⁵⁾)
篠山市(箆坊,29.VIII.1962,1♂,田中蕃¹¹⁾)

6. *Macdunnoughia crassisigna* (Warren) (4130)

オオキクギンウワバ 注目種

キクギンウワバによく似ているが、前翅は紫灰色を呈し、中央の銀紋はやや大きく時に分離する。腎状紋の上縁に細い銀線があり本種のよい識別点になる。礼文島、北海道から九州に至る本土域、対馬、屋久島に分布する。7~9月に記録があるがキクギンウワバより個体数は少ない。幼虫はゴボウを食べるのが観察されているが幼生期はよくわかっていない。県下からは神戸市、猪名川町、波賀町から記録があるが、最近の記録はない。局地的であると思われる。

【採集記録】

神戸市(摩耶山,16.VIII.1963,1♀,田中蕃¹¹⁾)
猪名川町(上阿古谷,21.VII.1982,1♂,夏秋ほか⁷³⁾)
波賀町(引原,22.VI.1974,1♂,遊磨正秀⁵⁵⁾)

7. *Macgunnoughia purissima* (Butler) (4131)

ギンモンシロウワバ

前翅は明るい灰色で横線は褐色、中央の銀紋は小さく分離する。北海道から九州に至る本土域と対馬、式根島から記録がある。6月ごろから発生し秋遅くまで見られる。幼生期はよくわかっていない。県下では各地に普通で平地から山地まで見られる。

【採集記録】

神戸市(藍那,30.VII.1985,1♂;12.X.1985,1♂;12.VII.1986,1♂,中川俣夫*：諏訪山公園,---,X.1988,---,山口福男²⁰¹⁾：摩耶山,---,---,田中蕃¹¹⁾：同,5.IX.1967,1♂,岡村八郎*：御影,6.IV.1985,1♀,岡村八郎*：六甲山,15.IX.1985,1♂,岡村八郎*)
西宮市(上霞原町,13.X.1967,1♂,東正雄¹³⁰⁾)
猪名川町(上阿古谷,12.VIII.1982,1♂;20.VIII.1982,1♂;1.IX.1982,1♂4♀,夏秋ほか⁷³⁾)
宝塚市(武田尾,22.V.1992,1♀,東たか¹³⁰⁾：中山寺,27.IX.1987,1♂,東正雄¹³⁰⁾：南口2丁目,3.X.1979,---,新家勝⁶⁴⁾：武庫川町,21.X.1988,---,新家勝¹²⁹⁾)
西脇市(---,27.V.1959,1ex.,岡本清²⁰⁴⁾)
黒田庄町(喜多,17.XI.1960,1ex.;4.X.1962,1ex.,岡本清¹⁵⁴⁾)
大河内町(長沢,29.VI.2000,1♂,高島昭)
波賀町(坂の谷,26.VI.1998,1♂,高島昭：引原,18.V.1974,1♀;8.VI.1974,2♂;22.IV.1977,1♂,遊磨正秀⁵⁵⁾：同,14.VIII.1979,1♂,相坂耕作：同,16.V.1988,1♂;5.VIII.1988,1♂,高島昭¹⁴⁾：同,21.X.1997,1♂,高島昭)
三日月町(下本郷,---,VIII.1983,---,IX.1984,---,川副昭人¹⁰⁰⁾)
豊岡市(正法寺,25.VI.1998,1♂,柴田剛)
氷ノ山(---,---,遠山ほか³⁵⁾)
関宮町(鉢伏高原,27.VI.1996,1♂,永瀬幸一*：福定,18.VIII.1964,1ex.,岡本清²⁰⁴⁾)

市島町(妙高山,---,山本義丸¹⁵⁵)
 北淡町(常陸寺山,7.VII.1972,1♂,登日邦明⁹⁹)
 津名町(大町畑,5.IV.1972,1♂,登日邦明⁹⁹)
 洲本市(厚浜,4.IV.1978,-,藤宮正昭¹⁵¹:宇山,26.IV.
 1981,1ex.,林俊雅⁷⁸)
 南淡町(阿万上町,21.III.1971,-,藤平明⁹⁵:同,21.IV.
 1976,-,藤平明⁹⁹:同,1.XII.1985,-;4.VII.1994,-,藤平
 明⁹⁷:灘大川,14.VII.1994,-,藤平明⁹⁷)

8. *Sclerogenia jessica* (Butler) (4132)

ワイモンギンウワバ

中央の銀色紋は小さくY字状を示す。本土域一帯、
 対馬、屋久島、御蔵島に分布する。幼生期は不明で
 あったが食草としてヤクシソウ、ヒメカンアオイが
 観察されている。県下での記録は少なく、南部の低
 山地から見つかっている。

【採集記録】

神戸市(有馬,29.VI.1990,1♀,東正雄¹²⁰:摩耶山,---,
 岡村八郎¹⁰⁴:同,24.VIII.1963,1♀,田中蕃¹¹)
 川西市(黒川,10.VIII.1996,1♀,高島昭¹⁷¹)
 宝塚市(宝梅1丁目,2.V.1977,1♀,東正雄¹²⁰)
 南淡町(阿万上町,---,藤平明⁹⁵:同,---,藤平明⁹⁹:
 灘黒岩,29.VI.1997,-,藤平明⁹⁷)

9. *Antoculeora locuples* (Oberthür) (4133)

ギンボシキンウワバ

前翅は赤褐色で金属光沢が強い。中央の銀紋は大
 きく分離する。北海道から九州まで分布するが離島
 から記録がない。幼生期は不詳。県下では各地に普
 通に見られ、平地から山地まで広く分布している。

【採集記録】

高砂市(-,4.V.1963,1ex.;13.VI.1963,1ex.,岡本清¹⁵⁴)
 黒田庄町(喜多,30.V.1959,1ex.;24.VI.1960,1ex.;22.X.
 1962,1ex.,岡本清¹⁵⁴)
 波賀町(坂の谷,5.VI.1998,2♂;20.VI.1998,1♀,高島昭
 :引原,22.VI.1974,1♂;29.VI.1974,1♂;27.IX.1974,
 1♀;27.IX.1974,2♂;2.VI.1975,1♂;11.X.1975,3♂;8.
 V.1977,1♂,遊磨正秀⁵⁵)
 上郡町(船坂,4.X.1997,1♂,高島昭)
 三日月町(下本郷,-,V.1984,-,川副昭人¹²⁴)
 朝来町(須留ヶ峰,9.VI.1975,1♂;31.VII.1975,1♂,遊磨
 正秀⁵⁵)
 大屋町(横行溪谷,4.VI.1999,1♂,高島昭)
 氷ノ山(---,遠山ほか³⁵:同,---,山本義丸¹⁵⁵)
 関宮町(大段ヶ平,1.VII.2000,1♂,高島昭:鉢伏高原,
 25.VII.1989,1♀,一ノ本明英^{*})
 柏原町(柏原,---,山本義丸¹⁵⁵)
 津名町(大町畑,3.IV.1972,1♀;5.IV.1972,1♀;12.IV.
 1972,1♂;4.V.1972,1♂,登日邦明⁹⁹:同,1.VII.1972,
 2♂,登日邦明⁹⁹)
 洲本市(厚浜,11.IV.1977,-,藤宮正昭¹⁵¹)

三原町(八木養宜,15.VIII.1983,-,藤宮正昭¹⁵¹)
 南淡町(阿万上町,5.VI.1973,-,藤平明⁹⁵:同,19.VI.1974,
 -,藤平明⁹⁹:同,23.IV.1985,-,藤平明⁹⁷)

10. *Erythroplusia rutilifrons* (Walker) (4134)

ギンスジキンウワバ

前翅は紫褐色で、赤褐色部は強く金属光沢を帯び
 るが、前縁部から中室内にかけては赤褐色を帯びず、
 セアカキンウワバとの識別点になる。中央の銀紋は
 小さく分離する。北海道から九州にかけてと対馬に
 分布する。食草としてオオバコが観察されている。
 年2回の発生。県下では記録が少なく現状では南東
 部の平地から低山地に限られている。

【採集記録】

神戸市(藍那,17.V.1986,1♀,中川俊夫*:摩耶山,---,
 -,田中蕃¹¹)
 西宮市(甲子園,13.VI.1950,-,東正雄¹²⁰)
 猪名川町(上阿古谷,20.VIII.1982,1♀,夏秋ほか⁷³)
 宝塚市(南口,20.IV.1987,1♂,東正雄¹²⁰:南口2丁目,6.
 XI.1978,-,新家勝⁶¹)
 黒田庄町(喜多,21.IV.1959,1ex.,岡本清¹⁵⁴)

11. *Erythroplusia pyropia* (Butler) (4135)

セアカキンウワバ

ギンスジキンウワバに似るが、前翅は基部と後縁
 角付近を除きほぼ前面赤褐色で金属光沢をともなう。
 中央の銀紋は分離し前種よりやや大きい。北海道か
 ら九州、対馬に分布し、幼虫はセリを食べることが
 わかっている。県下では平地から山地まで広く分布
 するが少ない種のようなのである。

【採集記録】

神戸市(摩耶山,22.X.1967,1♀;22.X.1967,1♂,岡村八
 郎*)
 宝塚市(武田尾,22.V.1992,1♀,東正雄¹²⁰:波豆,18.VII.
 1977,1♀,東正雄¹²⁰)
 黒田庄町(喜多,4.X.1961,1ex.;18.X.1961,1ex.,岡本清
¹⁵⁴)
 氷ノ山(---,遠山ほか³⁵)
 関宮町(氷ノ山,---,1955,-,山本義丸¹⁵⁵)
 柏原町(柏原,---,山本義丸¹⁵⁵)
 市島町(妙高山,---,山本義丸¹⁵⁵)
 南淡町(阿万上町,---,1958,-,藤平明⁹⁹)

12. *Autographa gamma* (Linnaeus) (4138)

ガマキンウワバ 注目種

前翅はやや黄色味が強く紫灰色を帯びない。中央
 の銀紋はY字状。後翅の翅脈は暗色で外縁の暗色帯
 は顕著である。北海道、東北から北陸、千葉、長野、
 群馬、徳島、高知、対馬などで記録があるが、秋の
 記録が多い。ヨーロッパでは移動性が強い種として
 知られるが、日本での動態はわかっていない。大陸

からの移動個体及びそれに基づく発生ではないかという説もある。

県下での記録は少なく、わずかに3例が知られるだけである。

【採集記録】

兵庫県(-, -, -, -, -, 杉繁郎¹¹¹)

神戸市(御影中町1丁目, 13.VI.1989, 1♂, 岡村八郎* : 山田町, 25.IX.1973, 1♀, 松本健嗣¹¹¹)

13. *Autographa nigrisigna* (Walker) (4139)

タマナギンウワバ

ガマキンウワバに似るが、やや紫褐色を帯び、中央の銀紋は分離しY字状にならない。内横線の後半部は銀色を帯びなめらか。後翅の基半部は翅脈が暗色を呈することはない。対馬、南西諸島を除く日本全土に普通に産する。アブラナ科野菜の害虫として著名であるが、ハクサンアザミも食草として記録されている。県下では各地に普通にしばしば野菜畑の害虫として問題になる。

【採集記録】

神戸市(藍那, 24.XI.1987, 1♂, 中川俣夫* : 諏訪山公園, -X.1986, -, 山口福男¹⁰¹ : 摩耶山, 2.VI.1968, 1♂; 20.

VII.1968, 1♂; 17.XI.1984, 1♀, 岡村八郎*)

宝塚市(南口2丁目, 28.X.1983, -, 新家勝⁸⁸ : 武庫川町, 24.IX.1989, -, 新家勝¹⁰⁹)

黒田庄町(喜多, 7.VII.1960, 1ex., 岡本清¹⁰⁴)

上郡町(上郡, 13.IX.1995, 1♂, 高島昭¹⁰⁹)

温泉町(扇ノ山, 11.VIII.1984, 1♂, 谷田昌也⁹⁷)

水ノ山(-, -, -, -, 遠山ほか²⁴)

柏原町(柏原, -, -, -, 山本義丸¹⁰⁵)

洲本市(厚浜, 6.XI.1979, -, 藤富正昭¹²¹)

三原町(八木養宜, 21.IX.1988, -, 藤富正昭¹²¹)

14. *Plusia festucae* (Linnaeus) (4145)

イネキンウワバ

日本全土に分布する。かつて北海道産が別種とされたこともあったが、現在では一種として扱われている。幼虫はイネ、ヒエ、アマ、ガマ、イグサ、カキツバタなどを食べ、幼虫で越冬するという。県下では各地に普通に山地にも見られるが、平地から低山地が分布の中心と思われる。

【採集記録】

神戸市(道場, 3.V.1967, 1♂, 岡村八郎* : 摩耶山, -, -, -, 田中蕃³¹ : 同, 27.VIII.1967, 1♀; 15.IX.1967, 1♂, 岡村八郎*)

川西市(黒川, 13.VII.1996, 1♂, 高島昭¹²¹)

猪名川町(上阿古谷, 21.VII.1982, 1♂ 2♀, 夏秋ほか⁷²)

宝塚市(花屋敷, 25.V.1933, 1♂, 東正雄¹²⁰ : 南口2丁目, 21.V.1979, -, 新家勝⁶⁶)

黒田庄町(喜多, 14.VII.1960, 1ex., 岡本清¹⁰⁴)

波賀町(引原, 27.VII.1973, 1♂, 遊磨正秀⁶⁵)

三日月町(下本郷, -, VIII.1983, -, 川副昭人¹⁰²)

大屋町(横行溪谷, 20.VIII.1999, 1♂, 高島昭)

水ノ山(-, -, -, -, 遠山ほか²⁴)

水上郡(-, -, -, -, 山本義丸⁹¹)

洲本市(厚浜, 20.VIII.1978, -, 藤富正昭¹²¹)

三原町(八木養宜, 13.VIII.1985, -, 4.VIII.1990, -, 藤富正昭¹²¹)

南淡町(阿万上町, -, IX.1958, -, 藤平明⁹⁹ : 同, 14.V.1961, -, 藤平明⁹⁵ : 筒井, 12.VIII.1993, -, 藤平明¹⁰⁷)

15. *Diachrysia coreae* (Bryk) (4148)

リョクモンオオキンウワバ

オオキンウワバに似るが前翅の紫褐色部はそれほど濃くなく、金色斑の周辺はぼやけて輪郭が不明瞭である。東北北部から九州、対馬に分布する。年2回の発生であるが幼生期は不詳。県下では各地で記録されており低山地から山地にかけて分布する。

【採集記録】

川西市(黒川, 2.VIII.1997, 1♂, 高島昭¹²¹)

猪名川町(上阿古谷, 25.VIII.1981, 1♂; 12.VIII.1982, 1♂; 1.IX.1982, 1♀, 夏秋ほか⁷²)

黒田庄町(喜多, 1.X.1959, 1ex., 岡本清¹⁰⁴)

大河内町(長沢, 29.VI.2000, 1♂, 高島昭)

波賀町(引原, 4.VII.1973, 1♂; 22.VI.1974, 1♂; 27.IX.

1974, 1♂, 遊磨正秀⁶⁵ : 同, 26.VIII.1988, 1♂, 高島昭¹⁰⁴)

三室山(-, -, -, -, 遠山ほか²⁴)

上郡町(黒石, 22.VII.1984, 1♂, 相坂耕作)

三日月町(下本郷, -, IX. -, 川副昭人¹⁰²)

温泉町(扇ノ山, 25.VIII.1984, 1♂, 谷田昌也⁹⁷)

水ノ山(-, -, -, -, 遠山ほか²⁴ : 同, -, -, -, 山本義丸¹⁰⁵)

関宮町(鉢伏高原, 15.VIII.1990, 1♂, 一ノ本明英*)

柏原町(柏原, -, -, -, 山本義丸¹⁰⁵)

16. *Diachrysia leonina* (Oberthür) (4149)

マガリキンウワバ

翅表は紫灰色を呈し、中央部は特に濃色であるが金属光沢はない。外横線はR₅付近で鋭く外方に角をなす。北海道から中部の山地帯、奈良県荒神岳、剣山、石鎚山、九重山などで記録がある。幼虫はエゾイラクサ、エゾゴマナ、チシマアザミなどから発見されている。年1回8~9月に出現する。兵庫県からは西播北部から但馬にかけての山地に生息する。

【採集記録】

波賀町(坂の谷, 19.VIII.1998, 1♂, 高島昭¹⁰⁶)

村岡町(鉢北高原, 19.VIII.2000, 1♂, 高島昭)

大屋町(横行溪谷, 20.VIII.1999, 1♂; 11.IX.1999, 1♂, 高島昭)

関宮町(水ノ山, -, -, 1954, -, 山本義丸⁹¹)

17. *Trichoplusia ni* (Hübner) (4155)

イラクサギンウワバ

前翅は灰褐色で金属光沢をあらわさない。中央の銀紋は白色に近い。日本全土から見られるが個体数は少ないという。多食性で和名は特定の食草を示すものではない。キュウリからも幼虫が発見されている。県下では淡路でのみ記録されているが、南部の平地では見つかると思われる。

[採集記録]

北淡町(常陸寺山,31.VII.1967,-,登日邦明¹⁹)
南淡町(阿万上町,-IX.1958,-;29.VII.1973,-,藤平明²⁵)

18. *Thysanoplusia intermixta* (Warren) (4157)

キクキンウワバ

屋久島以北に産する。幼虫は各種キク科植物につく。4月から11月まで見られる。県下では各地で普通に見られる。

[採集記録]

神戸市(藍那,6.IX.1984,1♀;6.XII.1986,1♀;24.VIII.1987,1♂;28.XI.1987,1♂;9.XII.1987,1♀,中川俊夫* : 諏訪山公園,-X.1988,-,山口福男²⁰¹ : 谷上,10.VIII.1931,1♀;15.VIII.1931,1♂,東正雄¹³⁰ : 摩耶山,-,-,-,田中蕃²¹ : 同,15.VIII.1985,1♂,岡村八郎* : 六甲山,3.VII.1988,1♀,岡村八郎*)
尼崎市(南塚口町,2.XII.1983,1♀,夏秋優²⁰⁰)
西宮市(上葭原町,13.X.1963,1♂;16.IX.1968,1♂,東良雄¹³⁰ : -,5.X.1967,1♀;12.X.1967,1♀,阪口浩平*)
伊丹市(-,16.VI.1981,1♂,中川俊夫*)
川西市(黒川,7.VI.1997,1♀,高島昭¹⁷¹)
猪名川町(上阿古谷,12.VIII.1982,1♂;1.IX.1982,1♂,夏秋ほか⁷³)
宝塚市(西谷西部,22.VIII.1987,1♀,東正雄¹³⁰ : 宝梅1丁目,17.XI.1987,1♂,東たか¹³⁰ : 南口2丁目,15.X.1978,-,新家勝⁶ : 同,30.IX.1989,-,新家勝¹²⁹)
高砂市(-,7.XII.1964,1ex.,岡本清¹⁵⁸)
黒田庄町(喜多,20.IV.1959,2exs.;9.X.1959,1ex.;4.X.1961,1ex.,岡本清¹⁶⁸)
姫路市(広嶺山,-,-,1982,-,木村三郎⁶⁴)
大河内町(砥峰高原,12.X.1999,1♂,高島昭)
波賀町(坂の谷,17.VII.1998,1♂,高島昭 : 引原,22.VI.1974,1♂,遊磨正秀⁵⁵ : 同,16.VII.1988,1♀;25.VII.1988,1♂;1.IX.1988,1♂,高島昭¹⁷¹)
相生市(瓜生,30.VI.1989,1♂,高島昭¹⁵² : 同,26.VIII.1997,1♂,高島昭)
上郡町(船坂,4.X.1997,1♂,高島昭)
豊岡市(-,7.VII.1973,-,山根政之⁶ : 正法寺,15.VI.1998,1♂;23.IX.1998,2exs.;18.X.1998,1ex.,柴田剛)
温泉町(扇ノ山,25.VIII.1984,1♂,谷田昌也⁹⁷)
鉢伏山(-,-,-,遠山ほか³⁶)
大屋町(横行溪谷,-IX.1999,1♂;6.XI.1999,1♂,高島昭)

氷ノ山(-,-,-,遠山ほか³⁶)

関宮町(鉢伏高原,10.VIII.1989,1♂,一ノ本明英* : 氷ノ山,-,-,1954,-,山本義丸*)

氷上郡(-,-,-,-,山本義丸*)

北淡町(常陸寺山,5.VII.1972,1♂;7.VII.1972,1♀,登日邦明²⁷)

三原町(八木養宜,19.VII.1986,-,-,XII.1992,-,藤富正昭¹³¹)

南淡町(阿万,11.2.1962,-,藤平明²⁵ : 阿万上町,21.X.1958,-;12.VI.1960,-,藤平明²⁵ : 同,16.III.1961,-,藤平明¹⁹⁷)

19. *Trichoplusia daubei* (Boisduval) (4158)

アミメキンウワバ 注目種

イラクサギンウワバに似ているが、中央の銀紋は細い帯状になる。熱帯性の種で伊豆半島・福井以西の本州、四国、九州、屋久島、沖縄、八丈島などで記録がある。県下での記録は少なく、神戸市と黒田庄町で採集されているだけである。土着性については不明であり、今後の調査が必要と思われる。

[採集記録]

神戸市(藍那,21.IX.1989,1♂,中川俊夫* : 摩耶山,30.VIII.1984,1♂,岡村八郎*)
黒田庄町(喜多,18.X.1961,1ex.,岡本清¹⁶⁸)

20. *Zonoplusia ochreatea* (Walker) (4161)

コセアカキンウワバ 注目種

前翅は赤褐色で、亜外縁線の外側の外縁に至る間は金属光沢をもつ。中央の銀紋は細い斜条となり灰白色を呈する。熱帯性の種で日本まで分布を広げている。伊豆半島以西の本州南岸、四国、九州、対馬、屋久島、奄美、沖縄、三宅島などで得られている。幼生期はよくわかっていないがおそらく多食性といわれている。県下では南淡町で記録されているだけで、北限域にあると思われる。

[採集記録]

南淡町(阿万上町,-,VI.1959,-,藤平明²⁵ : 同,24.X.1973,-,藤平明⁹⁹ : 同,3.XI.1991,-,藤平明¹⁹⁷)

21. *Ctenoplusia albostrata* (Bremer & Grey)

(4162) エソギクキンウワバ

前翅は暗灰色で金属光沢を欠く。中央の銀紋は内横線と外横線を連結する黄白色の斜条となる。熱帯性の種で日本全土から得られているが、北海道では稀。移動性があると思われる。本州中部では6月ごろから発生し秋に向かって個体数が増加する。幼虫はエソギク、ヒメジョオン、ゴマナなどのキク科草本を食べる。

県下では平地から低山地に普通であるが、山地帯にもよく飛来する。

[採集記録]

神戸市(諏訪山公園,-X.1985,-,山口福男²⁰¹:摩耶山,-,-,-,田中蕃²¹)
 尼崎市(南塚口町,8.XI.1982,1♂,夏秋優²⁰⁶)
 猪名川町(上阿古谷,1.IX.1982,1♂2♀,夏秋ほか⁷³)
 宝塚市(光明町,25.VIII.1988,-,新家勝¹²⁰:寿楽荘,12.XII.1989,1♂;13.IX.1990,1♂,東正雄¹²⁰:宝塚駅,14.X.1987,1♂,東正雄¹²⁰:西谷西部,19.IX.1987,1♂,東正雄¹²⁰:花屋敷,9.XII.1990,1♂,東正雄¹²⁰:宝梅1丁目,28.X.1985,1♂;25.XI.1985,1♂,東正雄¹²⁰:宝梅2丁目,2.XI.1987,1♂,東正雄¹²⁰:南口2丁目,11.X.1989,-,新家勝¹²⁰:武庫川町,6.XI.1979,-,新家勝⁶⁶)
 高砂市(-,15.VIII.1963,1ex.;28.VIII.1976,1ex.,岡本清¹⁵⁸)
 黒田庄町(喜多,12.IX.1961,1ex.;14.IX.1961,1ex.;1.VIII.1962,1ex.,岡本清¹⁶⁴)
 姫路市(太市,-,1991,-,丸谷ほか¹²⁶)
 大河内町(砥峰高原,12.X.1999,1♂,高島昭)
 波賀町(坂の谷,17.VII.1998,1♂,高島昭)
 上郡町(船坂,23.X.1997,1♂,高島昭)
 大屋町(横行溪谷,3.IX.1999,1♂,高島昭)
 柏原町(柏原,-,-,-,山本義丸¹⁶⁵)
 津名町(大町畑,5.V.1972,1♂,登日邦明²⁵:同,27.VII.1972,1♂,登日邦明²⁹)
 三原町(八木養宜,7.2.1993,-,藤富正昭¹²¹)
 南淡町(阿万上町,19.IX.1973,-,3.XI.1973,-,藤平明²⁵:賀集,26.IX.1995,-,藤平明¹⁹⁷:筒井,12.IX.1993,-,藤平明¹⁹⁷:福良向谷,10.X.1996,-,20.XII.1997,-,藤平明¹⁹⁷)

22. *Ctenoplusia agnata* (Staudinger) (4163)
 ミツモンキンウワバ
 イチジクキンウワバと似ているが、中央の銀紋はやや小さく、特に外横線がCuA₂脈の下で内方に鋭く切れ込んでいることで識別できる。寒冷地をのぞく日本全土で得られているが、秋に向かって大量に発生し、北方へ移動するものと推定されている。幼虫は多食性で、ニンジン、ゴボウなどの作物につくことも多い。県下では各地に普通に、夏以降の採集例が多い。
 [採集記録]
 神戸市(藍那,14.XI.1987,1♂;26.XI.1987,1♂,中川俊夫* :諏訪山公園,-X.1985,-,山口福男²⁰¹:摩耶山,-,-,-,田中蕃²¹)
 川西市(黒川,9.XI.1996,1♂,高島昭¹⁷¹)
 猪名川町(上阿古谷,12.VIII.1982,1♂;20.VIII.1982,1♂;1.IX.1982,2♂3♀,夏秋ほか⁷³)
 宝塚市(武田尾,3.VII.1991,1♂,東正雄¹²⁰:西谷西部,22.VIII.1987,3♂;19.IX.1987,3♂,東正雄¹²⁰:宝梅1丁目,28.V.1988,1♂,東正雄¹²⁰:南口2丁目,3.XI.1979,-,新家勝⁶⁶:同,6.X.1989,-,新家勝¹²⁰)
 高砂市(-,21.VI.1970,1ex.,岡本清¹⁵⁸)

黒田庄町(喜多,26.VII.1960,1ex.;6.IX.1960,1ex.;14.IX.1961,1ex.;12.X.1961,2exs.,岡本清¹⁶⁴)
 姫路市(太市,-,1991,-,丸谷ほか¹²⁶)
 波賀町(坂の谷,26.VIII.1988,1♂;25.IX.1998,1♀,高島昭:同,24.VIII.1991,-,大築正弘*:鹿伏,18.VIII.1995,1♂,高島昭:引原,22.VI.1974,1♂;12.VIII.1974,1♀,遊磨正秀²⁵:同,5.VIII.1988,1♀;7.IX.1988,1♂1♀,高島昭¹⁶⁴)
 上郡町(行頭,7.IX.1995,1♂,高島昭¹⁵⁹)
 豊岡市(正法寺,11.VIII.1998,1♂;30.VIII.1998,1♀;2.X.1998,1ex.;15.XI.1998,1ex.,柴田剛)
 氷上郡(-,-,-,-,山本義丸¹⁶⁵)
 洲本市(厚浜,29.IX.1978,-;17.IX.1979,-,藤富正昭¹²¹)
 三原町(八木養宜,8.X.1991,-,藤富正昭¹²¹)
 南淡町(阿万上町,8.IX.1962,-;19.IX.1973,-,藤平明²⁵:同,22.IX.1994,-,藤平明¹⁹⁷)

23. *Ctenoplusia ichinosei* (Dufay) (4164)

ニシキンウワバ
 前翅の外横線は細かく波上を呈し、その外側はややピンク色を帯びた淡色部で帯状に縁取られる。中央の銀紋は通常分離する。本州、四国、九州、対馬、神津島、御蔵島、屋久島、奄美、石垣などから得られているが関東以北では稀。東南アジアに近縁種が多い。秋に向かって個体数が増加し、移動性があると考えられている。県下では平地から山地まで普通に見られるが前エゾギクキンウワバ、ミツモンキンウワバと比べるとそれほど普遍的ではない。

[採集記録]

神戸市(摩耶山,-,-,-,田中蕃²¹)
 猪名川町(上阿古谷,12.VIII.1982,1♂;20.VIII.1982,1♂,夏秋ほか⁷³)
 宝塚市(武庫川町,28.IX.1979,-,新家勝⁶⁶)
 高砂市(-,X.VII.1967,1ex.;12.VII.1967,1ex.;13.VII.1967,1ex.,岡本清¹⁵⁸)
 大河内町(砥峰高原,12.X.1999,1♂,高島昭)
 波賀町(坂の谷,12.VIII.1998,1♂,高島昭:引原,29.VII.1988,1♂,高島昭¹⁶⁴)
 温泉町(扇ノ山,25.VIII.1984,1ex.,谷田昌也⁹⁷)
 村岡町(鉢北高原,19.VIII.2000,1♂,高島昭)
 関宮町(大段ヶ平,4.VIII.2000,1♂,高島昭)
 北淡町(常隆寺山,31.VII.1967,-,登日邦明¹⁹)

24. *Chrysodeixis eriosoma* (Doubleday) (4165)

イチジクキンウワバ
 外見はミツモンキンウワバと似ており、同定には注意が必要である。新鮮な個体では本種は紫色を帯び、中央部はより金色を帯びた褐色で、中央の銀紋は肥大することが多い。外横線のCuA₂脈下方での内方への切れ込みは、ミツモンキンウワバのように鋭く角をなすことはない。♂の尾端には黒色の毛束

兵庫県におけるウワバ亜科分布一覽表

2001.8.31 現在	神戸	阪神北摂	中東播南部	中東播北部	西播南部	西播北部	南但	北但	丹波	淡路北部	淡路南部	記録地数	備考
1.イラクサ												8	
2.オオミ	○	○			○	○	○					7	
3.オミ					○	○	○					4	冷温帯性
4.コシ		○	○	○	○	○	○		○			9	
5.オシ									○			4	注自種
6.オシ	○	○										3	注自種
7.オシ	○	○		○	○	○	○	○	○	○		28	
8.オシ	○	○										6	
9.オシ			○	○	○	○	○	○	○	○		16	
10.オシ	○	○										7	
11.オシ	○	○		○						○		9	
12.オシ	○	○										2	注自種
13.オシ	○	○			○		○	○	○	○		12	
14.オシ	○	○			○		○	○	○	○		16	
15.オシ	○	○			○		○	○	○	○		12	
16.オシ					○		○	○	○	○		4	山地性
17.オシ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		2	注自種
18.オシ	○	○										32	
19.オシ	○	○		○								3	注自種
20.オシ	○	○										1	注自種
21.オシ	○	○										27	
22.オシ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		21	
23.オシ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		11	
24.オシ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		14	
25.オシ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		12	
26.オシ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		15	
ウワバ亜科 計	16	18	8	16	12	16	17	10	13	6	14		

が裸出して見えることが多い。熱帯性の種で日本全土に記録があるが、東北、北海道では少ない。秋に向かって発生量を増し北方に移動するものと思われる。幼虫は特定の食草を持たず野菜を食害することも多い。また、大豆につくことが発見された。県下では南部の平地から低山地が分布の中心で、但馬の平地帯からも報告されている。

〔採集記録〕

- 神戸市(摩耶山,-,-,-,田中蕃¹¹: 同,5.IX.1967,1♂;10.IX.1967,1♀;20.VII.1968,1♀;3.VIII.1968,1♂;3.VIII.1968,1♀,岡村八郎*)
- 西宮市(-,4.IX.1967,1♂,阪口浩平*)
- 猪名川町(上阿古谷,20.VIII.1982,1♂,夏秋ほか⁷³)
- 宝塚市(武庫川町,17.X.1981,-,新家勝⁷⁶)
- 西脇市(-,7.IX.1961,-,岡本清²⁰⁴)
- 黒田庄町(喜多,26.VII.1960,1ex.,岡本清¹⁶⁸)
- 波賀町(引原,7.X.1988,1♂,高島昭¹⁴²)
- 上郡町(船坂,4.X.1997,1♀,高島昭)
- 三日月町(下本郷,-,X.1984,-,川副昭人¹⁰²)
- 豊岡市(山本,31.VII.1973,-,山根政之⁴³)
- 南淡町(阿万上町,3.IX.1961,-,21.X.1973,-,藤平明³⁵: 同,7.XII.1985,-,藤平明¹⁹⁷;賀集,26.IX.1995,-,藤平明

¹⁹⁷: 筒井,12.IX.1993,-,藤平明¹⁹⁷; 灘黒岩,1.IX.1997,-;11.X.1998,-,藤平明¹⁹⁷)

25. *Anadevidia debetata* (Butler) (4169)

モモイロキンウワバ

前翅は紫赤色で垂外縁部に金属光沢がある。ウリキンウワバに似るが外横線は単一で、おおむね直線状を呈する。北海道から九州にかけてと三宅島で記録があるが北海道には土着しないとされる。幼生期は不明である。県下では平地から山地まで比較的普通に見られる。

〔採集記録〕

- 西宮市(今津,4.XI.1969,1♀,遊磨正秀³¹: 生瀬,31.VIII.1970,1♀,遊磨正秀³¹)
- 猪名川町(上阿古谷,2.VIII.1983,1♂,夏秋ほか⁸²)
- 高砂市(-,24.V.1967,1ex.,岡本清¹⁶⁸)
- 八千代町(笠形山,26.VII.1968,1ex.(飼育),岡本清²⁰⁴)
- 波賀町(坂の谷,25.IX.1998,1♂,高島昭: 引原,27.IX.1974,1♀;11.X.1975,2♂,遊磨正秀³⁵: 同,5.IX.1987,1ex.;20.VIII.1988,1♂,高島昭¹⁴²: 同,12.XI.1997,1♀,高島昭)
- 温泉町(扇ノ山,25.VIII.1984,1ex.,谷田昌也⁹⁷)

朝来町(須留ヶ峰,31.VII.1975,1♂,遊磨正秀⁵⁶)
 氷ノ山(---,山本義丸¹²)
 市島町(妙高山,---,山本義丸¹⁵⁵)
 南淡町(阿万上町,18.X.1984,-,藤平明⁹⁹)

26. *Anadevidia peponis* (Fabricius) (4170)

フリキンウワバ

前翅は灰褐色で、亜外縁部のCuA2脈より上方で金銅色を帯び、また中脈下方の中央部も同様の光沢をもつ。外横線は二重で繊細な波状を呈する。本土全域と対馬、屋久島、沖縄などに分布するが、北海道では南方よりの飛来と思われる。ウリ科のほか、キリ、ヤマアイが食草として知られている。県下では各地に普通に見られる。

[採集記録]

神戸市(諏訪山公園,-.XI.1997,-,山口福男²⁰¹:摩耶山,-.---,田中蕃²¹)

尼崎市(南塚口町,18.XI.1983,1♂,夏秋優²⁰⁶)

西宮市(上葭原町,25.IX.1968,1♂,東正雄¹²⁰:-,27.X.1967,1♂,阪口浩平*)

猪名川町(上阿古谷,20.VIII.1982,1♂,夏秋ほか⁷)

宝塚市(光明町,25.VII.1988,-,新家勝¹³⁰:寿楽荘,5.XII.

1989,1♂,東正雄¹²⁰:南口2丁目,15.X.1978,-,新家勝⁶⁶:同,16.X.1988,-,新家勝¹²⁹)

三田市(相野,1.IX.1985,1♂,岡村八郎*)

明石市(大久保,5.XI.1964,1ex.,岡本清²⁰⁴)

黒田庄町(喜多,3.IX.1959,1ex.,岡本清¹⁶⁸)

豊岡市(正法寺,29.IX.1998,1ex.,2.X.1998,1ex.;28.X.

1998,1ex.,柴田剛)

関宮町(氷ノ山,---.1955,-,山本義丸⁷)

柏原町(柏原,---,山本義丸¹⁵⁵)

南淡町(阿万上町,20.XII.1971,-;23.X.1973,-,藤平明⁹⁹)

<今後記録される可能性のある種>

1. *Abrostola sugii* Dufay (4122)

ウスグロマダラウワバ

前翅翅底の淡色部は本属中最も暗色。亜外縁部の白色影は発達する。関東南部以西から九州にかけて分布するが離島からは未知という。年2回の発生であるが幼生期や食草は不詳である。兵庫県からは記録がないが大阪府箕面市から記録されているので、探せば発見できると思われる。

2. *Polychrysis splendida* (Butler) (4126)

マダラキンウワバ

北海道、本州、四国に産する。幼虫はホソバトリカブト、オオダイブシを食べることがわかっている。本州では年2回発生するがかなり局地的で、兵庫県からは見つからない。

3. *Plusidia cheiranthi* (Tauscher) (4128)

ムラサキウワバ

前翅に金属色を欠き、紫赤色を呈する。翅頂部は黄褐色。北海道、本州に分布し西は中国山地にまで分布する。四国、九州からは記録がない。年1回の発生であるが幼生期は未知。兵庫県からは現在のところ記録されていない。

4. *Macdunnoughia confusa* (Stephens) (4129)

キクギンウワバ

前翅は灰褐色で中央に銀色紋がある。この銀紋は常に接続し、ほぼ直線状の内横線とつながっている。中室下方の中央部は褐色。本土のほぼ全域で記録がある。かなり移動性を持ち秋に向かって発生量が増加する。幼虫は多食性でしばしば野菜を食害する。兵庫県ではこれまで記録が見られないが、分布していると思われる。

5. *Autographa amurica* (Staudinger) (4141)

オオムラサキキンウワバ

前翅は濃い紫褐色で内横線、外横線は太く二重となる。中央の銀紋はY字状であるが、時に分離し小さな銀色点を残す。CuA₂脈付近の外横線の内側は赤褐色を呈する。北海道、利尻島、福井県以北の本州に産することが知られているが、最近山口県からも記録されている。兵庫県からは見つからない。

6. *Chrysodeixis acuta* (Walker) (4166)

ホソバナキンウワバ

ニシキキンウワバ、イチジクキンウワバと似ているが♂の腹部側面の毛束は暗褐色。前翅はイチジクキンウワバより幅狭く翅頂は突出する。翅の色調は黄褐色を帯び、翅頂部に近い前縁の半月状の淡色部は顕著である。熱帯性の広域分布種で北海道から九州にかけての本土域と、屋久島、伊豆諸島などで記録があるが採集例は少ない。秋以降の記録が多い。幼虫はゴボウを食べるという。兵庫県からは記録がないが、今後発見される可能性は高い。

<引用文献>

- 5) 山本義丸(1955) 氷ノ山の蛾について(第1報) 兵庫生物3(1/2):3-6
- 7) 山本義丸(1956) 氷ノ山の蛾について(第2報) 兵庫生物3(3):121-123
- 8) 山本義丸(1958) 兵庫県水上郡昆虫目録 12-50
- 12) 田中 蕃(1966) 神戸市摩耶山に産する若干の蛾類 蛾類通信45:442-444
- 18) 田中 蕃(1967) シーモンキンウワバを笹坊で採集 佳香蝶19(70):83
- 19) 登日邦明(1967) 伊勢の森の蛾類

- PARNASSIUS 4:4-9
- 21) 登日邦明(1968) 「メンガタスズメ」を洲本市
鮎屋で採る PARNASSIUS 5/6:12
- 26) 登日邦明(1973) 淡路島産蛾類分布資料(I)
蛾類通信73:215-224
- 29) 登日邦明(1973) 淡路島若干の蛾の記録
PARNASSIUS 9:9-16
- 30) 遠山雅夫(1973) 氷ノ山産Abrostola属(ヤガ
科)について きべりはむし2(1):21
- 31) 遊磨正秀(1973) 六甲山地域の蛾類 I
きべりはむし2(1):1-9
- 35) 藤平 明(1974) 南淡の蛾(II)
PARNASSIUS 12:5-13
- 36) 奥谷禎一(1974) 中国山脈東端の昆虫相
東中国山地自然環境調査報告173-191
- 37) 登日邦明(1974) 淡路島産蛾類分布資料(II)
蛾類通信76:261-266
- 42) 高橋 匡(1975) 豊岡高等学校昆虫標本目録
(第1・2報)48-54
- 43) 高橋 匡(1975) 豊岡高等学校昆虫標本目録
(第3報)9-14
- 55) 遊磨正秀(1979) 宍粟郡波賀町引原ダムの蛾
類について(II) きべりはむし7(2):2-16
- 56) 遊磨正秀(1980) 朝来郡朝来町須留ヶ峰の蛾
類について(I) きべりはむし8(2):1-8
- 66) 新家 勝(1981) 宝塚大橋の照明灯で採集し
た蛾(その2) きべりはむし 9(2):17-20
- 70) 遊磨正秀(1981) 養父郡大屋町田淵山の蛾類
について(I) きべりはむし9(1):3-6
- 73) 夏秋優・佐々木昇(1982) 能勢地方の蛾(I)
上阿古谷・夏の蛾 Crude 23:1-37
- 76) 新家 勝(1982) 宝塚大橋の照明灯で採集し
た蛾(統報その1) きべりはむし10(2):10-16
- 78) 林 俊雄(1983) 淡路島産蛾類採集記録(I)
PARNASSIUS 28:13-16
- 82) 夏秋優・佐々木昇(1983) 能勢地方の蛾(II)
上阿古谷・夏の蛾(統報) Crude 24:1-12
- 86) 木村三郎(1984) 広峰・増位山系の昆虫
てんとうむし9:53-58
- 87) 夏秋優・佐々木昇(1984) 能勢地方の蛾(III)
妙見山・夏の蛾(1) Crude 25:15-22
- 88) 新家 勝(1984) 宝塚大橋の照明灯で採集し
た蛾(統報その3) きべりはむし12(2):53-55
- 97) 谷田昌也(1986) 扇ノ山の蛾類分布資料(1)
IRATSUME 10:30-37
- 99) 藤平 明(1987) 南淡の蛾 自刊
- 102) 川副昭人(1987) 佐用郡三日月町の蛾覚え書
てんとうむし10:1-10
- 104) 岡村八郎(1987) 神戸市摩耶山の蛾類採集記
録 てんとうむし10:37-45
- 113) 新家 勝(1988) 宝塚大橋の照明灯で採集し
た蛾(統報その8) きべりはむし16(1):13-15
- 122) 山本鏡丸(1989) 氷ノ山の蛾類について(後
報) 兵庫生物9(5):295-297
- 126) 日本野鳥の会(1992) 姫路市自然観察の森林
内基礎調査報告書 4-6昆虫類119-151
- 129) 新家 勝(1993) 宝塚大橋の照明灯で採集し
た蛾(統報その10) きべりはむし21(2):53-64
- 130) 宝塚市教育委員会(1993) 宝塚の昆虫 V
蛾類(II)
- 131) 藤宮正昭(1994) 私版 淡路の昆虫リスト
PARNASSIUS 41:1-4
- 142) 高島 昭(1995) 波賀町引原ダム周辺におけ
る蛾相第1報 きべりはむし23(1):6-16
- 152) 高島 昭(1996) 相生市三瀬山の蛾(1)
きべりはむし24(1):27-39
- 155) 山本鏡丸(1996) 兵庫県氷上郡地方の蛾類
(1) きべりはむし24(2):1-13
- 158) 岡本 清(1997) 高砂の蛾 てんとうむし11:
40-45
- 159) 高島 昭(1997) 上郡町で採集した蛾(1)
きべりはむし25(1):31-38
- 168) 岡本 清(1998) 黒田庄町で採集した蛾(1)
てんとうむし12:30-38
- 171) 高島 昭(1998) 黒川の蛾 きべりはむし26
(1):23-38
- 181) 杉 繁郎(1980) 兵庫県で採れたウスマダラ
カレハ 誘蛾燈82:120
- 186) 高島 昭(1999) 兵庫県波賀町で採集した注
目すべき蛾 誘蛾燈155:17-24
- 197) 藤平 明(1999) 淡路島南部の蛾 自刊1-96
- 201) 山口福男(1999) 諏訪山公園で採集した蛾
きべりはむし27(2):37-41
- 204) 岡本 清(1999) 兵庫県で採集した蛾
てんとうむし13:50-58
- 206) 夏秋 優(1997) 兵庫県尼崎市塚口の蛾
Crude 41:20-25
- 211) 松本健嗣(1983) 神戸市山田町の蛾(統報I)
きべりはむし11(1):18
- (TAKASHIMA AKIRA 姫路市書写2542-2)